

平成28年度 地域発 元気づくり支援金 事業実施結果(松本地域)

1 地域協働の推進に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
光城山 1000人SAKURAプロジェクト	安曇野市	光城山に多くの市民の手により桜の苗木を植え、将来に亘って地域で守り育てることにより、安曇野市のさらなる一体感の醸成と協働のまちづくりの推進を図るとともに、観光振興、登山による健康増進等にも寄与する。28年度は、更なる活動基盤の強化等を目指し「桜サミットin光城山」を新たに開催する。	1,924,631	1,114,000	住民が計画段階から積極的に事業に参加しており、協働による活動として根付いている。一部予定していた事業が実施できなかったが、今後も住民の手により光城山の桜が守られていくことが期待できる。
しろがねワクワク町づくり	NPO法人 しろがね(松本市)	地域の子どもは地域で育てるという気運の醸成等を目指し、昨年度に引き続き合同の運動会・夏祭りを開催するとともに、新たに学校行事や学習支援の取組やファミリーコンサート等も実施することで、地域の子どもと様々な大人が交流する機会を増やし町会を越えてみんなで子どもを育てる環境の整備につなげていく。	1,796,591	1,366,000	イベント参加者が予想以上に増加し、世代を超えた交流が順調に地域に浸透してきている。今後も継続していくために自立に向けた自主財源確保の取組が必要である。
信州人のご当地魅力再発見事業	長野県旅館ホテル組合 青年部(松本市)	県内観光の大きな魅力である温泉と食について、地元信州で暮らす人たちにその魅力を再認識していただき、その良さを県外の多くの人たちに発信していただくために、松本城三の丸地区において温泉(足湯)と食(日本酒、ワイン、農産品等)のイベントを開催するとともに、本イベントを契機として旅館ホテル組合と農家等の生産者の連携を強化していく。	2,281,568	1,711,000	旅館業界だけでなく他業界と協力して開催し、来場者が1,500人を超える盛況なイベントとなった。今後も、県内の経済活性化を目指して新たな取組をしていただきたい。
まつもと市民大学プロジェクト事業	コワーキングスペース Knower(s)(松本市)	地域の発展に取組む人材を育成し、活動できる場を提供するための講座(3講座)を開設するとともに、講座内のチームが講座で学んだ成果等を発表する場と提供することで、地域課題を解決できる人材を育成し、蓄積した知識、人材を地域に展開していく。	1,230,000	922,000	市民大学での出合いや学びを活かして地域で活動する若者が出てくるなど、人材の育成が進んでいる。参加希望者が増えるような講座開催方法を検討していただきたい。
ホテルの光でつなぐ地域ぐるみ川普請事業	水を守る会(塩尻市)	地域住民や地元の高校生、ボランティアなどが一体となり、河川敷のアカシヤ、アレチウリ等の帰化植物の駆除やゴミ拾いの環境整備活動を行うとともに、河川敷に芝桜の植栽を毎年実施することで、住民に身近な場所の美化、保全を通じた地域での交流を促進し、住民等の地域への愛着を高める。	406,404	300,000	地域住民組織や地元高校生との協働事業として河川敷の美化保全活動を実施することで、参加者が地域への愛着を持つことに寄与できた。継続して参加者を確保できる取り組みとするため、自主財源の確保についても検討が必要である。

2 保健、医療、福祉の充実に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
身体活動維持向上事業	松本市	地域住民が中心となり実施する体力づくり活動や、それらを企画・実施する「体力づくりサポーター」の育成を通じて、市民の健康意識の向上や、早い時期からロコモティブシンドローム予防につなげていく。28年度は、育成したサポーターが継続して活動できるようサポートも行っていく。	870,738	653,000	多くの体力づくりサポーターが育成され、出前型「体力健診」でサポーターが軽運動指導をするなど、元気な高齢者が運動習慣のない高齢者を支えるシステムとして定着してきている。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
にぎやか家庭応援事業	塩尻市	「子育てしたくなる街日本一」実現に向けて子育て支援施策の充実を図るため、昨年度に引き続き育児講演会を開催するとともに、各支所での巡回講演、保育所での一日保育体験を実施する。	964,935	771,000	一日保育体験事業の参加者数は増加してはいるが、当初の見込みより少ない人数であった。参加人数が増加するよう周知方法等の工夫をしていただきたい。
歩いてつながる地域の輪	生坂村	H27年度に作成したウォーキングマップ、手帳等が活用されるよう、多くの村民のウォーキング習慣・運動習慣の定着を促すため、松本大学の協力を得て、ウォーキング教室を定期的に開催するとともに、筋力向上プログラムを開発し、ケーブルテレビを通じ放映することで、村民の意識の啓発を図る。	971,968	728,000	事業の実施により、住民の生活習慣病予防や健康増進・体力向上の推進とともに、多くの住民の健康への関心が高まるよう、普及活動に取り組んでいただきたい。
村民総参加 みんなで応援子育てのむら事業	筑北村	子育てサークルや保育園、学校等と連携して、子育て世代の育児不安を解消し、親子の愛着形成と子どもの健やかな成長を支援するため、親子のふれあい講座や、成長過程や環境等に対応したペアレントトレーニングを実施し、将来村を支える村民となる子どもを支える環境の充実を図る。	580,653	456,000	一部の講座で参加人数が目標に達しなかったが、参加者における発達障がい者に対する理解が深まり、また子育てについての自信を増すことができた。今後も参加者を広げるとともに、参加者(保護者)同士のつながりが深まるよう、取り組みを工夫していただきたい。
薬草で健康長寿の村づくり	筑北村	H26、27年度に県の補助事業「集落再熱事業」において実施してきた薬草を楽しむ取組と、以前から村として研究を進めていた産業としての薬草栽培の取組を更に進めるため、関係団体等と連携して、薬草の栽培、普及を図る各種取組を実施するとともに、汎用性の高いエゴマ油の活用を推進していく。	4,051,626	2,665,000	薬草の栽培に継続的に取り組む人が着実に増えている。搾油機等を購入したことで栽培・加工に取り組みやすい環境整備ができ、今後より一層の薬草栽培が広まっていくことが期待できる。
みえない・みえにくい人たち またその家族・友人等向け ipad勉強会	障害者パソコン研究会 (松本市)	家にこもりがちな視覚障がい者にスポーツの機会を提供し、健康増進と人にやさしい社会づくりを進めるため、伴走・伴歩の体験会や講習会を実施するとともに、参加者の情報交換や事業の普及を図るためのウェブサイトやチラシ等を作成した。 ①伴走用品の購入、ウェブサイトの構築等 伴走者・伴歩者育成定例会参加者数 延べ150名、伴走・伴歩体験会参加者	503,580	373,000	参加者が目標に達しなかったものの、アドバイザー養成講座等の開催やブログの活用により、視覚障がい者のみでなく一般の方にも理解が広がってきた。今後も体験会などを継続して実施し、活動を広めていただきたい。
子育て応援 世代間コミュニケーション促進事業	根っこのこどもたち(松本市)	育児に不安や悩みを抱えている親を対象に、気軽に参加、発言ができる「トークライブ」や「話しかけ講座」、親子のコミュニケーションを促進するための「ドラマケーション」を開催することで、親自身の自己肯定感の向上や孤立感の軽減を図り、親が自信を持って育児に取り組めるサポートをする。	501,566	401,000	開催場所の工夫等で一人でも参加しやすいイベントとし、予定どおりの参加人数を確保できた。悩みを抱えた参加者同士の交流の場になるとともに、親子で信頼関係を気づくコミュニケーションの促進に寄与できた。今後は活動内容を広げ、地域への波及効果も期待したい。
松本地域出産・子育て情報発信事業	松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会(松本市)	産科・小児科医を取り巻く厳しい現状や、これらを支える従事者としての魅力、やりがいなどを広く住民に周知するためのパンフレットを作成するとともに、パンフレットを活用した公開講座の開催、昨年度開設したウェブサイトを活用した情報発信も行い、地域で子どもを育てることに安心感を醸成し、出産・子育て環境の一層の向上を図る。	2,963,241	2,349,000	当地域の産科医療体制の状況等をPRしたほか、公開講座においては著名人に講師を依頼することで目標以上の参加人数を確保することができた。今後はさらに多数の方に周知するための工夫をしていただきたい。
インクルーシブ社会実現のための映画「風は生きよという」の上映シンポジウムの開催	風をみる会(松本市)	人工呼吸器を使用しながら地域で普通の生活をしようという人々を描いた映画「風は生きよという」の上映とシンポジウムを行い、患者会・家族会の活動を広く知ってもらい、活動への理解と応援の機運を高める。	496,892	369,000	予定していた入場者数を達成し、シンポジウムをきっかけに患者や家族から多くの勇気が与えられたという声が多く聞かれた。患者会や家族会以外の多くの方に参加してもらえるような取組を期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
まんまる広場～医療と住民を結ぶつながりの輪～	信州メディボネット(松本市)	市民が気軽に医療従事者と交流できるコミュニティサロンを開設し、医療従事者が住民へ確かな健康情報をレクチャーしたり、様々な健康情報を市民へ発信することで、市民の健康や医療に対する関心を高め、地域医療や在宅医療の推進に寄与する。	607,032	435,000	市民が気軽に医療従事者と交流でき、健康や病気への理解を深める場となった。継続的に市民と医療関係者の連携の場づくりに取り組んでいただきたい。
歩こうBiz & Cycle Biz～市民歩こう運動 for Business～	松本地域健康産業推進協議会(松本市)	仕事や子育てに忙しく、ウォーキング等の運動時間の確保が難しいビジネスマン等が、普通の通勤や移動の中でウォーキング等の取組が行えるよう、企業や百貨店、スポーツショップ等の協力を得て、「歩こうBIZ」の取組を推進することで、市民の健康づくりに寄与するとともに、企業の「健康経営」を支援していく。	1,358,947	991,000	目的に掲げていた項目のうち、ウォーキングの実践企業や実践者の活動量の増加など一定の効果がみられた。企業の健康経営という観点から今後の取組に期待したい。
障がい児(者)と家族へのリクレーション、レスパイト支援企画	ほっとくらぶ(松本市)	昨年度、筑北ファン倶楽部と連携して実施した親子レスパイト事業を広く地域に広めていくため、ホームページ・コミュニティサイトの開設やパンフレットを作成するとともに、チャリティコンサートやレスパイトキャンプの報告会を実施し、重症心身障がい児(者)を支援するネットワーク等の構築を図る。	1,642,916	1,229,000	地域住民の協力を得て実施することで、支援の輪が広がっている。今後は情報発信に力を入れ、同様の境遇にある家族や活動の支援者などを徐々に増やし、継続的な取組となることを期待する。
乳ガン手術後の手作りパット事業	乳ガン患者会「桜むね」(松本市)	市販のものは高額で不具合が発生することもある乳がん患者用の保護パッドを、患者本人も参加しながら、自分に合ったものを自作するために県内外で製作講座を開催する。また、電話等による乳がん患者やその家族等へのカウンセリングも実施する。	2,987,015	1,852,000	リピーターの参加者が増えており、がん経験者同士が交流できる場として定着しつつあるので、それを活かし今後は地域への波及効果がより高い取組を期待する。
視覚障害者と伴に走り伴に歩くことをとおして心と体の健康をめざす「しあわせな健康づくり」事業	信州伴走・伴歩協会(松本市)	家にこもりがちな視覚障がい者にスポーツの機会を提供し、健康増進と人にやさしい社会づくりを進めるため、伴走・伴歩の体験会や講習会を実施するとともに、参加者の情報交換や事業の普及を図るためのウェブサイトの作成や、チラシ等を作成する。	931,156	698,000	参加者が目標に達しなかったものの、アドバイザー養成講座等の開催やブログの活用により、視覚障がい者のみでなく一般の方にも理解が広がってきた。今後も体験会などを継続して実施し、活動を広めていただきたい。
つどいの広場における子育て中のお母さん・お父さんの居場所支援事業	NPO法人ワーカーズコープ(松本市)	子育て中の母親、父親に、託児付きの交流の場、癒しの場を提供するとともに、講演会や食育講座を開催することで、地域ぐるみで子育てを支援する体制づくりや、母親の育児不安等の解消を図る。28年度は、試験的に一部講座で託児を有料化し、今後の事業継続に向けた取組を進める。	712,902	570,000	子育て中の保護者が安心して心身のリフレッシュを図れるよう託児付き各種講座の運営に、地域ぐるみで関わり、支援している。ボランティア部会を有効に機能させて、自立して事業が継続できるよう取り組んでいただきたい。
里山を活用した子育て・子育て支援事業	NPO法人 わおん(塩尻市)	身近な森林を活用し、森の中で子どもたちが自然とふれあい、保護者は非日常の癒しの場としてゆったりとした時間を過ごす「森カフェ」の取組を普及するため、セミナーやイベントを開催し、地域の資源である森を活用した子育て・子育て支援モデルとして発信していく。	1,211,974	853,000	子育てセミナーや森の癒し体験会を開催し、里山を活用した子育てを推進した。自然との触れ合いの大切さを伝える取組を継続させて、広く周知し、参加者数の増加につなげていただきたい。

3 教育、文化の振興に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
地域で支える安曇野のオフネの伝統文化の魅力発信事業	安曇野市	安曇野市無形民族文化財として各地域で受け継がれ行われているオフネ祭りについて、地域を代表する4つの保存会の協力を得て、オフネの製作段階から公開展示し、広く地域住民や観光客に広く発信するとともに、記録DVDを製作して地域や学校で学ぶ機会を提供することで、伝統文化の継承と地域活性化を図る。	5,373,037	4,029,000	諸団体が連携して『安曇野オフネ祭り』を開催することで、地域の伝統文化の魅力を県内外に広く発信した。伝統文化を次の世代に継承し、宣伝することで、一層多くの観光客が訪れることを期待したい。
住民パワーによるパワースポットのパワーアップ事業	筑北村	村の指定文化財である修那羅石仏群について、調査・資料収集や記録の電子化を進めるとともに、これらの文化財が地域にとって貴重な資源であることを再認識してもらうため、学習会や各種講座を開催する。また、案内板の設置や四阿の修繕を協働で実施することで、文化財を地域の財産として活用し、観光資源の柱として村内外へ発信していく。	1,295,852	968,000	学習会の開催ほか、住民による環境整備により、地域の文化財への保護意識醸成が図られた。撮影した石仏の電子データを活用して村内外へ情報発信し、観光資源としてのPRにも期待したい。
きささげ夢プロジェクト	筑北村	聖南中学校の生徒、保護者、地域住民等が、東日本大震災の被災地南三陸町を訪問し、スポーツや吹奏楽等による交流活動を行うとともに、保護者、地域住民等による学校支援組織「きささげ応援団」等と協力して、学校周辺の環境整備を実施することで、交流人口の増加や地域の活性化を図る。	1,647,343	1,235,000	聖南中学校の生徒の活動を保護者だけでなく地域住民が協力して事業が行われており、生徒と地域住民の交流が図られた。今後も地域に開かれた学校として住民との協働による地域づくりを期待する。
子どもたちの「生きる力」育成事業	そらいろのたね(松本市)	子どもの「自己肯定感」を高め、「生きる力」・「社会力」を育成するために、「思春期支援、中学生向け性教育支援事業」、「子どもの人権ワークショップ事業」、「コミュニケーションカ特勒ニング講座」を開催する。H28年度は、次年度以降の自立も見据え、指導者の養成やプログラムの開発等も行う。	1,609,997	1,180,000	本事業で育成した人材を活用して、子どもたちの自己肯定感や生きる力を育む各種講座を今後も継続的に開催し、子どもたちに学びの機会を提供していただきたい。
児童館における体験教室・学習支援事業	NPO法人ワーカーズコープ(松本市)	松本市から指定管理を受けている市内の児童館において、自主事業として各種体験教室や、教員OB、塾講師OB、地域住民などの協力を得て、学習支援活動や各種体験教室事業を展開することで、子ども達の学びの喜びと場の提供及び地域の活性化につなげる。28年度は、ボランティアの報償費を無償化、小額化するとともに、より地域の協力が得られる取組を推進していく。	1,021,575	817,000	学習教室や体験教室を通して、子どもたちに自信と居場所があることの安心感を持たせることができた。更に、地域の教員OB等の大人がボランティアとして関わり、地域全体での子育て支援に寄与した。
ふれあい町づくり 大日堂	沢村町会(松本市)	地区の文化財と伝承文化を地域全体で守り伝えていくため、沢村地区の伝統文化財「大日堂」を活用したイベント・学習会を開催するとともに、地域の伝統文化である「沢村音頭」を復活させ普及させるための講習会を実施する。	550,464	412,000	沢村地区で作られた伝承踊りである沢村音頭の復活や史跡巡りなどの子どもが地域の文化や歴史に触れる機会を提供することで、町会の活性化に寄与している。周辺の町会と積極的に連携してイベントを行うなど、他地域への波及効果もみられる。
民話などの文化遺産を後世に伝える事業	岡田地区まちおこし協議会(松本市)	地域に伝わる民話や伝説等の文化遺産を次世代へ伝え、幼児・児童の郷土愛を育成するため、民話を伝える活動を行っている地域団体と協力し、民話フェスティバルや民話に関する講演会を開催するとともに、地区に伝わる2種類民話について紙芝居を製作し、近隣の保育所や図書館等で上演や貸出を行う。	1,051,910	749,000	地域に伝わる民話などを後世に伝える活動は意義あるものと思うが、若い世代にはあまり認知されていない。民話フェスティバルは盛況であったが、より広い世代の方が興味を持つための工夫をしていただきたい。
城下町松本再生 小学校作文コンクール事業	城下町松本再生 小学校作文コンクール実行委員会(松本市)	松本市内の小学校高学年を対象に、地域住民とともに松本城を知り、学ぶ機会を提供するとともに、地元企業等と連携して松本城及び城下町を題材とした作文コンクールを実施することで、子どもたちの松本市(郷土)への愛着心を醸成し、将来に亘り松本市に住み続けたい、松本市に戻りたいと思う子どもの増加を目指す。	1,330,896	733,000	作文の募集だけでなく、フィールドワークを行うことにより郷土愛の醸成が図られた。多くの学校が参加し、応募数が増えるよう募集方法を工夫していただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
伊深薬王堂改修事業	岡田伊深町会(松本市)	岡田地区伊深町会にある江戸時代に造られた伊深薬王堂について、地域住民等の協力を得ながら改修工事を実施するとともに、伝統行事や野菜市を開催することにより、地域の活性化につなげる。	4,725,761	3,037,000	地域住民の協働作業により薬王堂を改修することで文化財保護の意識が高まり、忘れられていた伝統行事の復活に繋がった。伝統行事等を継続して開催することにより、地域の活性化につなげていただきたい。
松本市四賀音楽村音楽活動事業	松本市四賀音楽村(松本市)	1年間を通じ、四賀地区で地域住民(小学生等)と協働して各種音楽コンサートを開催することで、交流人口の増加を図り、地域住民が本物の音楽に触れる機会を提供し、音楽を通じて地域の活性化を図る。	591,408	474,000	地域の子供が本物の音楽に触れる場及び地域の多世代の住民が交流する場として、定着しつつある。今後は地域外からも多くの人を訪れるような工夫を行い、継続的な取組を期待する。
赤ちゃん先生プロジェクト事業	認定特定NPO法人長野サマライズ・センター(松本市)	赤ちゃんと母親が先生となり学校等を訪れる「赤ちゃん先生プログラム」を松本市内の小学校3校で実施することで、母親と赤ちゃんの社会参画を図るとともに小中学生に命の尊さを学ぶ機会を提供する。	1,036,540	777,000	障がい児及びその親が赤ちゃん先生として参加した実績がなく、今年度は障がい等の理解を深めるための研修会を開催するのみにとどまった。長期的な計画を立て取組を継続していただきたい。
愛情特盛り大作戦 親学のススメ ～子育て世代と、これから親になる世代に向けて～	松本青年会議所 郷土愛育み委員会(松本市)	現在子育て中の親やこれから親となる若者を対象に、「親としての学び」と「親になるための学び」という二つの視点から「親学」を学ぶパネルディスカッションを開催し、親の役割や、子どもを持つ喜び、子どもの成長を喜ぶ気持ちを深めることで、自分自身を見つめ直し、親として人間として成長してもらうきっかけとなる場を提供する。	1,090,144	823,000	松本市及び安曇野市の全小中学生の家庭にチラシを配布して周知したが、目標者数に対して参加者は2割にとどまった。周知方法だけでなくフォーラムの内容についての検討が必要である。
体験活動を通して児童館の友達と交流を深める事業	特定NPO法人 チルドレンズ・ミュージアム(安曇野市)	児童館の普段の活動で実施できないような科学展示の体験活動や工作づくりを長期休みや平日に行い、児童館へ通う子どもたちの交流の円滑化や新たな交友関係の構築を図る。	1,137,783	910,000	「見るだけ」、「聞くだけ」のイベントが多い児童館において、「自分でやる」ことを主眼としており、多くの子どもが満足できる事業であった。今後は他地域でも開催していただきたい。
安曇野アートラインサマースクール事業	安曇野アートライン推進協議会(安曇野市)	安曇野周辺にある美術館・博物館等において、夏季期間に「安曇野アートラインサマースクール」として親子が気軽に参加できる各種イベントやワークショップ等を開催し、創作活動の楽しみや美術館・博物館等とのふれあいの喜びを体験してもらうとともに、観光誘客の促進にも寄与する。	1,800,774	1,338,000	観光客のリピーターなど来客者数が増えるとともに、多くの子どもが多様なイベントに参加し、芸術文化との触れ合いという点において効果があった。今後も来客者増につながるよう内容等工夫をしていただきたい。
「中曽根の歴史」発行及び歴史探訪事業	中曽根誌編纂委員会(安曇野市)	安曇野市豊科の中曽根地区において、地区の歴史を紐解き、冊子としてまとめることにより、育まれてきた地域の文化の足跡を見直すとともに、それらを次世代に継承することで、地域住民の地区への愛着や郷土愛を深め、地域の一体感の醸成を図る。	1,677,016	1,000,000	郷土愛を育むことは、短期間でできる事ではないので、今後も、歴史書を利用しながら、取り組みを続けていっていただきたい。
七年に一度「奇祭」狐の嫁入り行列文化継承事業	筑北村青柳区祭保存会(筑北村)	七年に一度青柳宿で開催される「奇祭」狐の嫁入り行列を、地域の重要な伝統文化として継承するとともに、観光資源として活用するため、祭りのDVDを作成し、地域内での学習会や、観光案内所等で活用するとともに、宿場町特有の屋号を新たな観光資源として活用するため、屋号入りの提灯を作成・設置することで、宿場の景観形成に寄与する。	2,781,000	2,085,000	マスコミに大きく取り上げられ、村外からも多くの観光客が訪れて青柳宿のPRになった。今回作成した記録映像を活用して後継者を育成し、文化が伝承されていくことに期待する。

4 安全・安心な地域づくりに関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
オープンデータを活用した地域課題解決型サービスの充実	塩尻市	H27年度に支援金を活用し開発した、オープンデータを活用した、子育て支援サイトの内容の充実と活用を図るため、昨年度に引き続き住民参加型のワークショップを開催するとともに、将来の地域におけるICT技術者を育成するため、小中高生を対象にオープンデータ分析集中教育を行うことで、地域住民が主体のオープンデータ活用モデルを構築する。	2,142,320	1,452,000	子育てサイト活用体験講座などの開催により、一層同サイトの利用者や運営協力者が増加した。欲しい情報をいつでも、どこでも得られるよう推進するとともにデータ分析技術の向上が図られるよう期待する。
地区の防災安心応援事業	生坂村	H20年度に作成した住民支え合いマップ(要支援世帯の情報)を改定するとともに、従来から実施している防災講演会、全住民による避難訓練を実施することで、住民主導型の災害支援体制を定着させ、更なる防災意識の普及・啓発を図る。28年度は新たに医療救護訓練も実施し、有事の際の更なる防災体制の強化を図る。	1,272,760	1,018,000	防災訓練を実施することにより、地域住民の防災意識の向上が図られた。今後も、いつ何時起こるか分からない災害に備え、継続的な避難訓練や啓発活動に努めていただきたい。
目指せ！無事故・無犯罪の村「生坂」事業	生坂村	交通事故が多発する箇所地域住民と協働で看板を設置し注意喚起を行うとともに、バス停から民家までの間の人目の届かない場所へ防犯カメラを設置し犯罪の抑制を図ることにより、無事故・無犯罪の住みよい村を目指す。	761,400	440,000	注意喚起の看板設置により安全運転意識の向上を、また、防犯カメラの設置により犯罪発生抑制が期待できる。今後は、広報等により更なる交通事故・犯罪の抑止に取り組んでいただきたい。

5 環境保全、景観形成に関する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
残さず食べよう協力店(仮)登録事業	松本市	昨年度まで実施してきた食品ロス事業をさらに進めるため、H28年度は食品ロスの取組に協力いただける協力店舗の登録制度を構築し、事業者等の協力を得ながら食品ロスの更なる制度の周知と推進を図る。	1,020,600	765,000	食品ロス削減に向けての普及啓発など消費者と事業者を含めた地域ぐるみの運動に加え、飲食店などを対象に新たな認定制度を創設する活動を展開しており、ごみの減量化にも寄与している。
平瀬城跡の整備、保存活動事業	平瀬城跡一口城主会(松本市)	島内地区にある松本市の特別史跡「平瀬城跡」について、地域住民等が中心となり地域の貴重な歴史文化遺産として周辺環境を含めた整備・保存活動を行い、新たな観光スポットとしての活用も視野に将来的には県、国の史跡としての指定を目指す。	1,024,439	664,000	平瀬城跡を地域の大切な文化財として、住民が熱心に整備保存活動に取り組んでいる。今後も文化財及び観光資源として多くの人に訪れてもらえるよう、より一層整備と情報発信に取り組んでいただきたい。
ふるさと安曇野「案内人育成&情報発信」事業	安曇野ふるさとづくり応援団(安曇野市)	27年度に、国営あづみの公園で実施した「案内人養成講座」を更に充実させ、本年度は市街地の「まちなか集落」を案内事例とした「実践編」を開催するとともに、あづみの公園に昨年度設置された案内人のインフォメーションコーナーや、ポータルサイトの内容を更に充実させ、養成した案内人の活動の場の確保にも努める。	806,472	600,000	案内人の教室を開催し、地域を案内できる人材が育成され、観光振興につながっている。その他、県等の主催する講座で案内人の教室参加者が講師を務めるなど、活動が広がっている。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松本キッズ・リユースひろば事業	松本市	リユースによるごみの減量化、循環型社会形成への意識向上を図るとともに、子育て家庭への支援を目的として、家庭で使用しなくなった育児、子ども用品を常時回収し、月1回程度開催する配布イベントで無料配布するとともに、子育て支援団体等と連携し、子育て関連の事業を併せて開催する。	5,802,716	2,368,000	参加世帯数は当初見込みに届かなかったものの、前年度比172.6%と市民に浸透してきたことが伺える。事業内容にしても使用期間の短い子供用品に着目している点は、ゴミの削減だけでなく子育て支援にもつながっており、評価できる。
地域で守ります～鎖川の清流を下流域へ～	朝日村	雨水被害を受けた鎖川上流の倒木の除去と有効活用を行い、その状況等を広報することで住民の不安を解消するとともに河川愛護意識・防災意識の高揚を図る。	8,142,560	5,000,000	河川内の倒木処理や住民による不要樹木の伐採等により、雨水被害による鎖川の二次災害に対する住民の不安が解消された。今後も、河川愛護活動を継続するとともに、防災意識の啓発活動を行っていただきたい。
大音寺山 みんなの山づくり実践事業	浅間温泉遊歩道木の絆会(松本市)	平成14年に山林火災で森林が焼失した浅間温泉の大音寺山において、地域住民及びボランティアが協働して、植樹や遊歩道整備を行い、山を「地域の宝」として守り育てるとともに、浅間温泉の観光名所として温泉街活性化にも寄与する。28年度は案内板、ため池の整備も行き、ウォーキングイベントも開催する。	1,552,862	859,000	地域住民による環境整備、植樹会の開催により、住民同士の絆を深めるとともに、焼失した山林の再生及び公園としての整備が進んだことで、今後、住民にとって癒し、憩いの場として活用されることが期待できる。
水芭蕉公園景観及び水芭蕉保全事業	みどり湖水芭蕉の会(塩尻市)	みどり湖の水芭蕉公園を魅力ある観光地として発信するため、地域住民やボランティアとの協働により遊歩道や育成環境整備等を行うとともに、水芭蕉まつりを開催する。28年度は、市観光協会と連携して、みどり湖を一層魅力ある観光地とするためのワークショップを開催し、今後の活動基盤強化を図る。	479,007	328,000	水芭蕉公園の遊歩道や観賞スペースを整備することで、景観保全が図られた。観光関係団体との連携や周辺の観光資源を有効活用することで観光地あるいは市民の憩いの場として一層利用促進につなげていただきたい。
風景投稿サイト「ビューポイント信州の山」事業	安曇野百選プロジェクト(安曇野市)	27年度に開設した風景投稿サイト「ビューポイント信州の山」について、里山版カテゴリやポストカード印刷機能の追加等を行い、登山愛好者以外へ利用者の幅を広げるとともに、山の日の制定に合わせた展示企画を行い、山岳観光の振興や景観形成等に寄与する。	707,940	510,000	ビューポイントの登録数が目標の半数以下であった。多くの人にアクセスしてもらえよう取り組んでいただきたい。
イルミネーションの光とともに村の魅力・出会いの場提供事業	いくさかコン実行委員会(生坂村)	昨年、村営のスポーツパークに設置した約13万個のイルミネーションに、8万個のイルミネーション追加し、21万個のイルミネーションを地域住民の協働により装飾を行うとともに、このイルミネーションを利用した出会いイベントを開催することで、イルミネーションを通じた観光誘致、地域活性化等の更なる充実を図る。	3,349,121	2,466,000	婚活イベントでは当初の目標達成はできなかったが、イルミネーションは規模を拡大しながら3年間継続実施したことにより、冬季間の村の観光資源として定着しつつあり、周辺施設である「やまなみ荘」への誘客にもつながりは始めている。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (1) 特色ある観光地づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
ビッグデータを活用した「松本地域の観光変革プロジェクト」	松本広域連合	H27年度に本事業において実施した、観光動態調査、観光意向調査の結果を踏まえ、松本地域における新たな観光資源の開発や、着地周遊型観光の促進を図るための情報発信やPRを実施するとともに、産官学で構成するワーキンググループによる検討を行い、松本地域が一体となった魅力あふれる広域観光地づくりを推進する。	7,153,280	5,000,000	前年度の調査結果を生かして、効果的な情報発信をすることができた。作成した「広域観光周遊プラン」を活用した松本地域の観光振興に期待したい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
国際観光都市松本推進事業	NPO法人 アルプス善意通訳協会(松本市)	松本城を中心とした外国人観光客に対する観光案内ボランティア活動の充実を図るため、仏語、スペイン語、中国語による案内講座を実施するとともに、一般市民も対象とした案内の質向上のための歴史文化講座や英語リスニング力向上講座を開催する。本年度は新たな取組として、商店街と連携して外国人にやさしい街づくりを支援し、国際観光都市としての資質向上に寄与する。	1,211,663	908,000	講座の実施により、英語以外の言語に対応したガイドが育成されたほか、英語の「受け答え集」を作成し、商店に配付する等、地域をサポートする活動を進めていることも評価できる。
上高地をモデルとした外国人顧客向けの自然公園情報発信サイト構築事業	上高地観光旅館組合(松本市)	上高地を訪れる外国人旅行者に、自然公園としての価値を共有してもらい、ルールや楽しみ方といった適切な情報を提供するため、既存の外国人向けWebサイトやパンフレットの情報を一元化し、外国人目線に立った様々な情報を総合的に提供するWebサイトを新たに構築し、上高地を自然公園としてブランディングを図っていく。	4,104,000	3,078,000	乱立していた海外向け情報を統一し、「上高地」のブランドイメージを明確化した。今後も継続してホームページの運用と情報更新を行っていただきたい。
人と自然にやさしい乗鞍高原 トイレと花いっぱい事業	のりくら観光協会(松本市)	乗鞍高原内に携帯用トイレブースを設置し、その廃棄物を花壇の肥料として活用するシステムを普及するとともに、安価で自然にやさしいトイレモデルとして発信していくことで、女性でも安心して自然を楽しんでもらえる山岳観光地づくりに寄与し、乗鞍高原を訪れる観光客の増加を図る。	553,386	390,000	観光客数は対前年比で増加しているが、アンケート結果によると、携帯トイレに対する認知度はまだ低い状態である。トイレ環境の整備によって、観光客増につながっているのかという点について、検証をしていただきたい。
スマホアプリを活用したイベントによる地域活性化及び観光の振興～Ingressイベントの開催～	松本Ingress活用研究会(松本市)	スマートフォンのGPS機能を利用したゲームアプリ「Ingress」を活用したイベントを開催し、参加者の街歩きを促進し松本地域のファンとなってもらうことにより地域の活性化や観光の振興を図る。	591,408	441,000	目標としていた参加者数には届かなかったものの、市外からの参加者が多く占めており、市外から集客を見込めるイベントである。情報発信やPR方法を工夫し、継続的な取組を期待する。
多文化人財「日本人も外国人もみんなで魅力ある地域づくりを」事業	特定NPO法人中信多文化共生ネットワーク(松本市)	松本市在住の外国人を講師に起用し、松本への来訪人数の多いアジア圏の文化や言葉を学ぶ講座を観光従事者や一般市民を対象に開催し、魅力ある観光の街づくりを行う。	720,121	537,000	参加者は目標に届かなかったものの、各国出身の講師から直接話を聞くことで、おもてなし力の向上を図ることができ、魅力ある観光の街づくりへつながることが期待できる。今後は更なる参加者を確保し、より効果的な取り組みとしていただきたい。
浅間温泉 癒しとやすらぎの温泉地づくり	浅間温泉旅館協同組合 婦人部(松本市)	浅間温泉を、疾病などの治療や療養などに訪れる人に優しい「癒しとやすらぎの温泉地」として県内外に発信するため、滞在メニューの開発や松本山雅FCを活用したPRを実施し、新たな顧客層の開拓に取り組む。	739,520	554,000	モニターツアー参加者数は計画の半分であったが、アンケート結果を参考にモデルコースを開発することができた。浅間温泉周辺の自然環境・歴史文化の特色を生かした滞在型メニューの商品化により、今後の集客につなげていただきたい。
塩尻四宿400年祭(街道交流事業)	街道交流事業実行委員会(塩尻市)	H26年度から実施している皇女和宮御下向行列の再現を、昨年度に引き続き数原～奈良井宿で継続的に開催するとともに、併せて街道ウォーキング事業や宿場ごとのワークショップ等を開催し、地域住民自らが宿場や街道といった地域の資源を磨き上げ、愛着と誇りを醸成し、交流人口の増加を図る。	3,235,914	1,920,000	各宿場の連携を密にして各種イベントを開催することで、交流人口の増加や地域情報の発信につながった。県内の他地域の宿場と連携する体制づくりを推進することで一層交流人口の増加、誘客促進につなげていただきたい。
BYOを利用した地産地消事業	地域ブランド推進活動協議会(塩尻市)	H25年度に元気づくり支援金を活用して制定した塩尻版BYO制度の定着を目的として、マップの作成とBYO利用キャンペーンを行い、地域の飲食店活性化とワインのまち塩尻の認知度アップ、地産地消文化の定着を目指す。	462,953	341,000	「BYO」制度のルールを統一することで飲食店の負担を軽減するとともに、地元産ワインを扱う店舗のパンフレットの作成など地産地消に資する取組が行われた。店舗自らがイベントを企画する等の地域全体での盛り上げがりに期待したい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
松沢求策ライオンプロジェクト	松沢求策ライオンクラブ(安曇野市)	安曇野出身で自由民権運動の獅子「松沢求策」について、その存在や業績を更に多くの方に知っていただくため、昨年度に引き続き各種学習会や講演会を実施するとともに、28年度は新たに地域イベント「安曇野スタイル」の実施期間に戯曲「女たちの松沢求策」を上演し、更なる観光振興や地域活性化に寄与する。	470,520	324,000	戯曲「女たちの松沢求策」の上演は、若い世代の住民が地域の偉人である松沢求策の功績等について知る機会となった。郷土愛の醸成や地域の新たな魅力の発見につながっている。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (2) 農業の振興と農山村づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
大日向地区 集落再熱事業	大日向ニンニク生産組合(生坂村)	H25、26年度に県の補助事業「集落再熱事業」で実施した取組を更に進めるため、検証、研究の成果に基づき、高齢者でも負担が少なく、比較的栽培が容易なニンニクの栽培を更に進めるとともに、ニンニクを加工した黒ニンニクの加工、供給体制を整備することで、定住、就農者が一体となった住民協働による地区の活性化を進める。	1,211,144	824,000	今後は、保全活動を行っている遊休農地を活用し、更に地域ぐるみで農作物栽培に取り組み、地域の結び付きを強めるようなソフト事業(小学生の農業体験等)の継続と更なる充実を期待したい。
夢ステージに挑戦!! 農業女子応援事業	公益財団法人生坂村農業公社(生坂村)	近年単身女性の就農希望者が増加している中、女性の就農希望者を受け入れ、女性独自の視点で新しいスタイルの農業、地域での暮らしができるよう、農業指導や加工品研究等支援を行う。	3,258,422	2,334,000	各種栽培研修や農業機械研修会等を通じて定住女性農業者の就農環境整備や体制が進んでいる。今後は、新たな就農希望女子への受け入れ体制の整備や更なる就農環境整備等の取り組んでいただきたい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (3) 森林づくりと林業の振興

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
「第1回信州バザール」普及推進事業	一般社団法人 信州木造住宅協会(松本市)	地元工務店等が協力し、様々な業界団体や学校、行政関係機関と連携し、木造住宅の普及や県産材の利用促進、更には家づくり等に関する各種技能者の育成、啓発を行うイベント「信州バザール」を開催することで、業界や産業の垣根を越えて地域住民に地域の魅力を発信する。	5,888,680	2,432,000	木造住宅のPRだけでなく、建築業界へ就職を希望する若年層向けのイベントを開催するなど、内容を工夫することによって多くの来場者を得ることができた。県産材が住宅建築に利用され、林業の活性化につながるよう、今後の取組に期待したい。
茶道用炭づくりを通した里山整備と産業おこし事業	里山を生かす会(筑北村)	里山の広葉樹や、きこの栽培等で生じたクヌギ等の枝等を活用して、炭の中でも商品価値の高い茶道用の「菊墨」を生産し、特産化を進めるため、菊墨用の炭焼き窯を新たに3基設置するとともに、広く住民参加を募り炭焼き体験教室を開催する。	579,759	372,000	間伐材の再利用として、茶道用の「菊墨」を生産しようという発想が非常に良かった。さらに経験を積み、品質を向上させて特産化を進めるとともに、里山整備にも繋がっていくことが期待できる。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (4) 商業の振興

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
信州松本味噌普及プロジェクト	松本食堂サミット(松本市)	生産量・消費量ともに全国1位である味噌を活用した「味噌バル」、「きき味噌」イベントを開催することで、松本地域における味噌文化の重要性を再認識してもらい、味噌の消費拡大、ブランド化を推進するとともに、中心市街地の活性化にも寄与する。	2,845,474	602,000	松本味噌の歴史等に関する情報発信が十分と云えず、認知度向上や地域ブランドの創造につながっていない。長期的な計画を立て取組を継続していただきたい。

6 産業振興、雇用拡大に関する事業 (5) その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
新卒I・Jターン定住化促進事業	松本市	松本市へのI・Jターン誘引を目的として、首都圏をはじめとする都市部に在住する大学生を対象に移住・就職セミナーを開催するとともに、企業訪問等をプログラムとした松本滞在型のツアーを実施することで、地方に就職することの足掛かりと、参加者の松本への定住イメージの形成を図る。	1,452,282	658,000	I・Jターンの実績が出るのは1～2年後になると思うが、全国的に同様の取組が行われている中で差別化を打ち出していくことが必要。来年度からは近隣市と連携して事業展開することでPRポイントも増えるので、成果に期待したい。
紙のタイムマシン活用事業	塩尻市	塩尻市に研究拠点を置く企業が、世界で初めて開発した、使用済みの紙から新しい紙を再生する室内古紙再生機を、実証として市役所市民ホール等に設置し、廃棄文書等の再利用などを推進するとともに、市内の事業者や団体等からの古紙持込みも行い、協働による古紙再生システムのモデルケースとして構築する。	1,110,926	632,000	古紙再生機の実証実験により、資源リサイクルを推進するとともに、古紙回収作業を委託することで障がい者の雇用創出にも寄与している。一層の普及啓発に努め、資源の有効活用に取り組んでいただきたい。
ファブラリー えんぱーく	塩尻市	3Dプリンターを市民交流センター(えんぱーく)に設置し、市民や中小企業等を対象として利用貸出、デモンストレーション、体験講座、等を実施し、中小企業の経営革新、若者の起業促進、子どものモノづくりへの関心喚起を図る。28年度は、3Dスキャナ、カッティングマシン等の周辺機器も整備し、活用方法を普及させるとともに、各種講座等を充実させ、利用者増加に向けた取組を実施する。	540,054	397,000	3Dプリンターという最新技術を子供が学ぶ講座などを開催することで、将来、地域の産業を担う人材の育成に寄与している。
朝日村プライムスキー場全面滑走可能！事業	朝日村	あさひプライムスキー場について、ファミリー層が移住・定住できる環境整備のための中核的施設と位置付け、施設の更新とスキー場に関する情報発信、イベント等を行うことにより、村内他のスポーツ施設と連携し地域振興を図る。	7,710,933	5,000,000	スキー場リフトを改修するとともに、イベントを開催し、交流人口の増加を図った。29年度設立予定の観光事業推進団体との連携を一層密にして、施設利用の促進につなげていただきたい。
中山東花園から農村を元気にするプロジェクト事業(NNGP)	中山東花園から農村を元気にするプロジェクト(松本市)	松本市中山地区にある中山東花園において実施されている親子農業体験教室、熟年農業大学院の取組を充実させ、地域が一体となった体験活動を推進するため、体験活動の拠点となる東屋を協働により設置(5棟)するとともに、これらを活用して様々な交流活動等を実施する。	518,269	315,000	このプロジェクトにより中山地区の魅力の掘り起こしや地域住民のつながりづくりができています。事業実施にあたり調整が不足していた部分があったので、今後は関係機関の意見等を十分に確認しながら活動を続けていただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
ばんどこファーム	ばんどこファーム実行委員会(松本市)	旧いがやスキー場の施設を活用し、地域住民が主体となり、ヤギの乳製品の販売やふれあい牧場、足湯を活用した観光振興事業を展開する。28年度は、ヤギミルクを活用した特産品の開発・販売を本格化させ、ヤギ飼育施設の拡張や簡易水洗トイレの整備等、事業を軌道に乗せるために必要な環境を整備する。	3,678,426	2,269,000	県内初のヤギソフトクリームの販売等で、前年度の200名を大きく上回る781名の観光客が訪れた。新たな観光スポットとして、地域の活性化への寄与が期待できる。
「もう一度働きたい！女性のための働く準備講座」	ココノチカラ 松本支部(松本市)	子育て中の女性を主な対象として、社会復帰に向けた必要な精神的自立(心の準備)、知識やスキルを習得するためのキャリアプログラム講座や子育て中の女性のための創業支援プログラム講座を開催する。また、本年度は小規模な創業支援にスポットを当てた支援を充実するとともに、次年度以降も活用できるオンライン講座も開設する。	1,861,117	1,488,000	一部の講座で参加人数が目標に達しなかったが、創業を目指す女性同士にコミュニケーションの場を提供し、能力向上や事業を展開するための具体的な取り組みができた。今後も参加者を広げるとともに、継続的な支援を行っていただきたい。
まつもとdeあ〜るプロジェクト	松本青年会議所 郷土の魅力創出委員会(松本市)	松本の宝である歴史的な民・工芸品を、県内外のデザイナーや地域の学生と連携して新たな「郷土ブランド」として創出し、モデル作品2品を東京ビッグサイトで開催される「ライフスタイル展」に出展・全国へ発信していくことで、販路拡大の契機とするとともに、地域経済の発展や活カアップに寄与する。	3,053,700	2,128,000	松本の「民・工芸」を新たなブランドとして生み出し、販路拡大につなげたことは高く評価できる。引き続きブランド力を高め、「ものづくり」の伝統技術を継承していくとともに、地域経済の活性化・松本の魅力発信に寄与する事業として継続することに期待したい。
松本スイーツ開発・普及事業	松本スイーツ開発・普及事業実行委員会(松本市)	松本を代表するお土産となりうる「松本スイーツ」を開発し、商品化するため、「おみやげ部門」「食べ歩き部門」の2部門で作品を募集し、コンテストを開催することで、地域活性化や観光誘客を図るとともに、「スイーツの街まつもと」を目指す。	4,749,613	3,063,000	松本スイーツ取扱い事業者が増加しており、事業が定着してきている。地域経済が活性化するよう、PR活動や販路拡大に取り組んでいただきたい。
やっぱり、すごいね木曾漆器！！ 魅力再発見事業	塩尻市木曾平沢地区(塩尻市)	木曾漆器の生産地である塩尻市木曾平沢地区において、木曾漆器の魅力を地域の子どもたちや、観光客に伝えるための取組として、子ども向けワークショップの開催、旅行者向け工房見学支援事業を、関係団体等と連携して実施することで、木曾漆器の技術者の育成と、魅力向上を図る。	612,000	459,000	子供向けワークショップについては計画以上の参加者を得て、体験等を通して漆への関心と興味が深められた。旅行者向けへの取組については、多くの地元店舗の協力を得たが、来場者数の目標達成はできなかった。旅行者向けのPR方法についてもさらに工夫していただきたい。
信州塩尻「そば切り物語り」おいしいがいっぱい“秋の大収穫祭”	信州塩尻「そば切り物語り」実行委員会(塩尻市)	蕎麦切り発祥の地塩尻からそばを発信するために、塩尻産の信州ひすいそばやワイン日本酒等の特産品を市民に十分知っていただく取組や、参加・体験型プログラム、軽トラ市等を開催し、特色ある観光地づくりと農業、商業の振興を図る。28年度は、堅穴式住居を活用して、当時の食べ方体験会などの新たなイベントも実施し、より多くの住民が集うイベントとする。	7,045,043	1,400,000	来場者・売り上げがともに増加したことは「そば切り発祥」「ワイン」「遺跡」などを組み合わせたイベントが定着してきたと推察できる。今後は他のそば祭りとの連携を考えているようなので、是非とも成功させていただきたい。
松本山雅FCとの連携によるスポーツ振興プロジェクト	松本山雅フェスティバル実行委員会(塩尻市)	松本山雅FCとの連携の下、小学生対象のサッカー大会・練習会を開催し、県外の都市からもチームを招待することで、子ども達に多様な交流の機会を提供するとともに、経済活性化にも寄与する。	1,918,824	1,358,000	子どもたちにとって県外のチームと交流できる有意義なスポーツイベントである上、地元の宿泊施設や飲食店の利用により経済波及効果が期待できる。今後、協賛企業の協力や参加チームの負担金等により、活動を継続していただきたい。
安曇野産ホップ生産、麦芽栽培による遊休荒廃農地活用事業	安曇野産ホップを生産する会(安曇野市)	100%地元素材による地ビールを生産するための素材を安曇野市内の地ビールメーカーに提供するため、地域の大学や試験研究機関とも連携して、市内で新たにホップを生産するための基盤整備(ホップ棚の整備等)を行うとともに、地ビール向けの大麦の生産拡大に向けた取組を実施することで、遊休荒廃農地の解消と地元素材100%使用地ビールの開発・普及を目指す。	2,382,207	1,593,000	ホップに加え寒冷地では不向きと言われる二条大麦の試験栽培を行うことで、耕作面積を当初目標より広げ、遊休荒廃農地を縮減することができた。生産者の育成とホップの安定的収穫に向けて引き続き取り組んでいただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
B&B(1泊朝食)宿泊対応地域飲食店情報整備事業	安曇野で暮らすように泊まる実行委員会(安曇野市)	観光宿泊者等の多様なニーズに対応するため、宿泊施設外での夕食や街歩きを目的とした安曇野地域の飲食店マップ及びポータルサイト作成し普及させることにより、宿泊業、飲食業、その他観光関係者が連携した地域内での滞在型観光の推進を図る。	1,507,680	1,125,000	当初は訪日外国人観光客もターゲットであったが、出来上がった情報誌やHPに英訳表記がされていない。また、土地勘のない観光客向けであれば、情報誌に地図や値段等を掲載すべきである。
おみごと農業研修推進事業	NPO法人 おみごと(麻績村)	村の基幹産業である農業を持続可能なものとし、都市部から移住した若者(地域おこし協力隊等)が地域に定着するための環境づくりを進めるため、NPO法人と村が連携して遊休荒廃農地を活用した生産から販売まで一連の取組を行う農業研修を実施し、担い手育成のモデル的取組とする。	3,322,518	2,339,000	当初の予定よりも多くの遊休荒廃農地の再生が農業研修生の手により実施された。また村や村民の協力を得ながら事業を実施することにより、地域を挙げての農業の担い手育成や農業振興につながっている。
アウトドアで村おこし事業	生坂村観光協会(生坂村)	昨年度から実施している、生坂村の自然環境を活かしたアウトドアの更なる普及を図るため、生坂村の観光スポット等をめぐる「ロゲイニング」イベントを新たに開催するとともに、大城京ヶ倉トレッキングコースの充実を図るため、携帯用トレッキングマップの作成と、案内看板を設置する。	1,680,907	935,000	ロゲイニングイベント実施やトレッキングコースの整備では多くの地元住民の協力を得ながら実施することができた。今後は、アウトドア体験者が増加するよう体験メニューの工夫や広報の充実を図るなど、事業の更なる充実を期待したい。
信州山形村産長芋料理レシピ集製作及びやまっちそば普及事業	山形村観光協会(山形村)	村の特産品である長芋普及拡大を図るため、観光協会内に「長芋料理研究会」(仮称)を設置し、長芋の特色を活かしたレシピの作成とともに、レシピ集を発行、配布する。また、長芋を使った「やまっちそば」を名物として発信していくため、ポスター、リーフレット、及び提供店に展示する食品見本を制作する。	2,033,190	1,431,000	やまいもレシピ集及びやまっちそばリーフレットの作成部数が少なく広報活動が制限されてしまったが、やまっちそばの販売数が前年より増加しており、一定の効果はあった。今後もリーフレット配付だけでなく、多様な普及活動をしていただきたい。

7 その他地域の元気を生み出す地域づくり

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
地域づくりインターンシップ戦略事業	松本市	若者参加による地域の活性化と若者の地域への定着を目的として、松本大学と連携し、地元志向を持った若者を地域づくりセンターが中心となりインターンシップによる実践活動を実施するとともに、地域づくりのための講座を開催し、地域づくりを担う人材の育成と、地元での就職、起業を支援していく。	20,705,760	567,000	若者が地域づくりの活動に参加することで、地域活性化について学ぶ機会ができた。今後、地域づくり活動に参加する若者が増えることに期待したい。
美しい森林資源を活かした交流体験プログラム創生事業	朝日村	昨年度に引き続き、村の森林を活用して、森林浴や森林ヨガ、ピザ作り等を行う体験プログラムを実施し、交流人口の増加や村のPRに寄与する。28年度は、新たに冬季における魅力の発信を目的として、スノーシューを使った冬の雪中ガイドウォークも開催し、年間を通じた受入体制の充実を図る。	1,651,130	1,133,000	遊歩道の整備や森林浴ツアーを実施することで地域住民と都市住民との交流が図られた。築いた人と人のつながりを今後の事業運営に生かせるよう期待したい。
消防団は地域に必要です！～消防団員募集中～	朝日村	減少傾向にある消防団員の確保のため、消防団員・住民とともに消防団活動を紹介するプロモーション動画やポスター・冊子を作成し、消防団の活動内容を村内へ発信する。	407,160	305,000	消防団員の募集に有用なツールが作成された。これを使用することで、より多くの住民が消防団に関心を持ち、入団者が増えるよう継続的な取組を期待する。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
朝日村プロモーション事業	朝日村	村の魅力を伝えるプロモーション動画を作成しホームページに掲載するとともに、コミュニティ放送を活用した地域情報発信番組を放送することにより、村の認知度を高め、交流人口及び転入者の流れを創出する。	2,579,040	1,934,000	PR動画については作成しただけに止まり、動画発信までには至らなかったが、今後の効果的な活用に期待したい。
福島っ子松本留学事業	NPO法人 まつもと子ども留学基金(松本市)	福島の子どもたちを対象に、四賀地区において子ども留学事業を行い、安全な生活と教育環境を提供するとともに、留学生が地域の子どもたちや住民と交流を図ることで、地域の活性化にも寄与する。28年度は新たに留学希望家族を対象とした見学会・宿泊体験会を実施し、受入のための情報提供の充実を図る。	1,872,887	1,305,000	宿泊体験用設備の整備により、宿泊体験に9家族、44名が参加した。留学生との地域交流事業の開催等により、地域の活性化にもつながっている。今後の事業継続のため、自己財源の確保に取り組んでいただきたい。
小野御柱を盛上げる事前イベント・PR事業	北小野地区振興会(塩尻市)	29年度に開催される小野御柱を県内外に発信するため、7月に開催される松本城太鼓まつりにおいて、模擬御柱祭を実施するとともに、御柱の歴史などをまとめた冊子を作成し、情報発信や地域における学習活動に活用することで伝統文化の継承に寄与する。	900,460	643,000	中学生から高齢者まで地区住民150人が一体となって行った木遣りによる御柱のPRは、地元への愛着心の醸成・文化の伝承にもつながった。御柱祭本番も地域一体となって盛り上げていただきたい。
日本アルプスフェス2016	日本アルプスフェス実行委員会(塩尻市)	中信地域の4市が連携し、ワインなどの優れた地場産品を活用したイベントを名古屋市内において開催し、イベントを通じて中信地域の魅力を発信することで、広域的な観光誘客と地場産品等の消費拡大を図る。28年度は、イベント来場者が中信地域を実際に来訪していただけるよう、割引クーポンの充実や旅行商品の開発も行っていく。	11,790,059	4,800,000	中信4市が名古屋テレビ塔下で地域産品を活用したPRイベントは来場者数・全体売上額ともに前年を上回り、効果があったと推察できるので、継続の道を模索していただきたい。
JR篠ノ井線の利用促進と松本地域の観光振興等事業	篠ノ井線松本地域活性化協議会(安曇野市)	松本地域の8市村及び関係団体で構成する「篠ノ井線松本地域活性化協議会」が主体となり、DCキャンペーンを見据えたPRイベントを沿線住民の協力を得ながら実施するとともに、地域の大学と連携して、地域の足としての利便性、快適性向上のための調査・研究を引き続き実施する。	1,122,542	572,000	法被やのぼりを作成し、今後も継続的に啓発活動を行うための体制づくりができた。今後は他事例の研究などを進め、篠ノ井線の活性化に資する新たな方策を検討するなど継続的な取組を期待する。
おみ光のページェント	麻績村観光協会(麻績村)	冬季における村への来訪者増加を図るため、シェーンガルテンおみの庭園に7~10万球のイルミネーションを地域住民の協働により装飾を行うとともに、このイルミネーションを利用した男女の出会いイベント等を開催することで、イルミネーションを通じた観光誘致、地域住民の憩いの場づくり、地域活性化等を図る。	4,582,600	3,083,000	開催場所であるシェーンガルデンおみの来場者数が増えるなど一定の効果があった。課題である冬期間の観光コンテンツとして定着するよう継続的な取組を期待する。
農業の収穫を音楽祭で祝い山形村を盛り上げる地域活性化事業	收音祭実行委員会(山形村)	山形村の清水高原において、民間主導の住民参加型音楽イベントを開催し、併せて関係団体等との連携により地域特産品や他県の名産品の販売等も行うことで、清水高原の魅力を村内外に発信する。28年度からは村長を実行委員長に就任していただき、村との連携強化を図る。	2,154,120	1,425,000	当初の見込みよりイベントの参加者が増加しており、事業が定着している。今後も事業が継続されるよう他団体と協力し、自主財源の確保や参加者の増加に取り組んでいただきたい。
松本ユース平和ネットワーク事業	松本ユース平和ネットワーク(松本市)	大学生や20代の若者が平和について考え、若い感性での長崎市への平和訪問や市主催の平和推進事業への参画等を行い、平和の大切さを語り継ぐことができる人材を育成する。	564,270	423,000	平和学習や若者主体の出前授業等の平和発信活動により、地域の平和意識の高揚に寄与することができた。さらに多くの若者が参加し、ネットワークの拡大を図れるよう取り組んでいただきたい。

事業名	団体名	事業内容	事業費(円)		講評
				うち支援額	
スポーツ活動を通じて四賀地区の活性化を図る事業	四賀元気プロジェクト (松本市)	スポーツイベントを通じて四賀地区を元気にすることを目的として、米かつきぎマラソンを四賀地区の各種団体と連携して開催し、四賀地区の住民と交流を図ることにより、四賀地区の活性化やターン者の増加を図る。28年度は米かつきぎマラソンの開催に特化し、より多くの地域住民や関係団体の協力を得て規模の拡大を図る。	667,334	387,000	「虚空蔵山米かつきぎマラソン」の参加者が予定していた150人の3分の1に止まったことは残念であるが、ネーミングからも広く発信していけるイベントであるので、来年度は是非成功させ地域の活性化につながることに期待したい。